

平成26年4月23日

プロジェクト報告書

団体名 NPO 法人 まきばフリースクール

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

労働教育ワークショップ事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

当ホームが目標とする一つに、子ども達が社会に出て「安心して働き続けられる」ことがある。その実現のためには、子ども達自身が、安心して働き続けるために必要な知識(権利・資格・保険・年金等)を社会に出る前に身につけ、退所後の生活・仕事についての計画(キャリアプラン)を現実にも即して立てられていることが重要となる。本事業では子ども達がそうした知識を身につけ、キャリアプランを立てられるよう、労働教育ワークショップをホーム利用者に実践するものである。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

半年に1度(6月・11月)、ホーム利用者を対象に労働に関する知識を学ぶワークショップを開く。職員が講師となり、また労働法教育等について実践しているNPO法人 posse 等に協力を依頼し、講師を招聘して、2日間の日程でキャリアプランニング、希望する職に就き働き続ける為に必要な資格、安心して働き続ける為に必要な権利・保険・年金・制度等について体験・座学を通して学ぶ。

1日目 テーマ:安心して働き続ける為に
講座内容:労働者のもつ権利について
保険・年金について
就職した後の相談機関・利用できる制度について
資格・職種について

2日目 テーマ:希望する仕事で働き続ける為に
ワークショップ内容:キャリアプランニング

ワークショップ開催後、購入・作成した仕事・資格情報や制度等に関する書籍等の資料を常設するコーナーをホーム内に設け、パソコンも設置する。これにより、ホーム利用者がワークショップで得た知識やスキル、作成したキャリアプランを用いて、継続して就職活動ができる環境を整える。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

働いた経験のない青年たちにとっても身近なものとして捉えられるよう、寸劇やグループ討論を混ぜて進化した。また寸劇では、青年たちと信頼関係のできている当団体のスタッフが出演することで、青年たちが安心してワークショップに参加できる雰囲気づくりと参加意欲の向上を図った。

個別のキャリアプランニングには当団体スタッフも同席して計画することで、その後の日常の支援活動での指針を本人と共有して進めることができた。

青年たちが「困ったときにどこに相談したらいいのかが分かるよう、講師になっていただいた各団体スタッフとの関係づくりに努めた。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

働くことの体験と知識がまだ少なく、働くことにつまづく和生活全体が立ち行かなくなるリスクの高い青年たちに対しては、定期的なワークショップ開催などで体験と知識を補っていく積極的なアプローチが重要であると改めて実感した。実際受講した青年たちのなかには、現実に即した形で自分の希望に沿った進路を検討し、そのための努力ができるようになったメンバーもいる。また他団体と協力して実施することは、青年たちが社会に出た後に利用できる社会資源を増やすことにもつながる。今後も継続して本事業を行っていきたい。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

○参考資料あり・特になし

ワークショップの写真

